

令和4年成人式

117人の新成人が晴れやかに

1月3日、名和農業者トレーニングセンターを会場に成人式を行いました。平成13年4月2日から平成14年4月1日まで生まれ、町在住者及び出身者が対象で、このたび成人仲間入りした157人のうち、117人が式典に参加しました。

今年も新型コロナウイルス感染症対策のため、事前申込制とし、会場内では座席の間隔をあけるなどの対策を行いました。また、県外から参加される方については、新型コロナウイルス感染症検査の陰性証明の提示をお願いしました。

式典では、成人を代表して中山中学校出身の赤川凜さんが記念品授与され、名和中学校出身の中原幸子さんが代表謝辞を述べられました。

式典後は、6人の成人式実行委員が交流会を進行し、中学時代の恩師からのビデオメッセージや抽選会でなごやかなひとときを過ごしました。



▲謝辞を述べる中原幸子さん

成人代表謝辞 (抜粋) 中原 幸子さん

私たちは成人の年を迎え、既に仕事に奮闘する者、学問に勤しむ者、地元を離れる者、離れない者など、それぞれの立場で、皆が様々な道を歩んでいます。このような私たちの社会への新たな一歩は、新型コロナウイルスの猛威により多くの制限を受け、苦境に立たされることとなりました。一方で、人との出会いが制限されたからこそ実感できた人と人との繋がりの大切さ、「普通」、「当たり前」と思っていた日常の価値など、学び得るものも多くありました。コロナ禍の生活で、私達に強いられたものは、決して消極的な意味を持つものばかりではないはずです。この状況だからこそ得られた学び、そしてこの大山町で、先生方、地域の方々、家族から頂いた沢山の愛情と学びを胸に刻み、前向きに歩んで行くことを誓います。

